

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 無効票 | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|----|---|-----|---------------|-----|-----|------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 20% | 50% | 30% | - | 時間的な差がある |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 10% | 60% | 30% | - | 時間的な差がある |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 40% | 50% | 10% | - | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 10% | 60% | 30% | - | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 40% | 40% | 20% | - | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 40% | 50% | 10% | - | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | - | 60% | 40% | - | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 20% | 50% | 30% | - | |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 30% | 50% | 20% | - | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | - | 50% | 50% | - | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 10% | 40% | 50% | - | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 30% | 70% | - | - | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 10% | 40% | 50% | - | 長期休暇時は普段と違う活動内容を検討していく |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | - | 80% | 20% | - | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 30% | 40% | 30% | - | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 20% | 30% | 50% | - | ・振り返りは必ずする様、職員間で徹底する |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 30% | 60% | 10% | - | |

| | | | | | | | |
|--------------|----|--|-----|-----|-----|---|--|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 60% | 30% | 10% | - | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | - | 70% | 30% | - | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | - | 80% | 20% | - | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 50% | 40% | 10% | - | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 10% | 70% | 20% | - | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 30% | 40% | 30% | - | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 30% | 60% | 10% | - | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 10% | 60% | 30% | - | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 10% | 20% | 70% | - | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | - | 50% | 50% | - | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 80% | 20% | - | - | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | - | 40% | 60% | - | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 40% | 50% | 10% | - | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 40% | 50% | 10% | - | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | - | 50% | 50% | - | |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|-----|-----|-----|-----|----------------------|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 70% | 30% | - | - | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 40% | 40% | 20% | - | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 80% | 20% | - | - | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 50% | 40% | - | 10% | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 10% | 50% | 40% | - | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 30% | 40% | 30% | - | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 80% | 20% | - | - | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 30% | 30% | 40% | - | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 30% | 60% | 10% | - | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 50% | 30% | 20% | - | 保護者からの情報による対応 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 30% | 50% | 20% | - | 記入する人が限られている。抵抗感が強い。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 無効票 | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|----|---|------|---------------|-------|-----|------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 17% | 83% | | | 日や時間によって適切な時とそうでないことがある |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | - | 50% | 50% | | 同上 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 50% | 17% | 33% | | 裏口の出入り口が車いすで出られない→対策検討する必要あり |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 17% | 50% | 33% | | ミーティングを日々と月ごとに行っている |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 17% | 83% | - | | 希望を聞いているが実施につなげるのが難しい |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 67% | 33% | - | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 17% | 83% | - | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 67% | 16.5% | 16.5% | | 研修は参加し、質を高める努力をしている |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 67% | 33% | - | | きちんと行っている |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | - | 50% | 50% | | 一部の人のみ使っている |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 50% | 50% | - | | 皆で相談して行っている |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 83% | 17% | - | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 17% | 83% | - | | 長期休暇中は集団でしか見れない |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 67% | 16.5% | 16.5% | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 50% | 33% | 17% | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 100% | - | | | 毎日行っている |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 83% | 17% | | | |

| | | | | | | | |
|--------------|----|--|------|-------|-------|--|--------------|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 83% | 17% | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 67% | 16.5% | 16.5% | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 67% | 33% | | | 誰も参加したことがない |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 100% | - | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | - | 50% | 50% | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 17% | 67% | 16.5% | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 17% | 83% | | | 声がかかれば参加している |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | - | 67% | 33% | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | - | - | 100% | | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | - | 17% | 83% | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 67% | 16.5% | 16.5% | | 連絡帳を通して行っている |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | - | 67% | 33% | | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 67% | 16.5% | 16.5% | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 33% | 50% | 17% | | 送迎時等に行っている |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | - | 17% | 83% | | |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|------|-------|-------|--|--------------------|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 83% | 17% | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 100% | - | | | つくしだより等で行っている |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 100% | - | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 83% | - | 17% | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | - | 33% | 67% | | 今後必要だ |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 33% | 67% | | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 50% | 50% | | | 定期的に行っている |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 67% | 33% | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 67% | 33% | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 33% | 50% | 17% | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 67% | 16.5% | 16.5% | | 日々ヒヤリすることが多く起こっている |

<評価表の結果について話し合った内容について>

- ・玄関以外の非常口が1か所しかないのに狭く、スロープがないので車いすの人が出られない。
- ・長期休暇中と平日の支援体制に差がある。休暇中は手薄になり危険度が増す。
アルバイトなどで行えないか。
- ・サービス担当者会議は行われていない。困難ケースもあるため必要だと感じるが、相談支援員も余裕がないのか行われていない。
- ・ヒヤリハットすることが多いので、今後は業務日誌に書いていく。

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無効票 | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|--|---|-------|---------------|-------|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 50% | 25% | 25% | - | 利用者、人数により別室を利用し対応している。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 25% | 75% | - | - | シフト作成時、過不足ないよう配置人数を検討する。職員一人一人ができることを増やし、職員間の声掛け等を徹底し、スムーズに業務が運ぶように努める。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 75% | 25% | - | - | スロープやリフトはあるが、レールや高めの段差が残っており、改善が必要。玄関まわりは歩行者にとっての段差があり、すのこや手すりの改善検討中。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 75% | 25% | - | - | 毎日、朝・タミーティング、月1回他に必要時会議により実施。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 62.5% | 25% | 12.5% | - | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 62.5% | 37.5% | - | - | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 12.5% | 50% | 25% | 12.5% | |
| 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 87.5% | 12.5% | - | - | | |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 62.5% | 25% | 12.5% | - | 本人たちの希望や思いをもっと組み込む必要がある。また、作成時は担当者以外の職員も含めて数名で分析し、作成している。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 37.5% | 25% | 25% | 12.5% | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 50% | 50% | - | - | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 75% | 25% | - | - | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 50% | 50% | - | - | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 50% | 50% | - | - | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 100% | - | - | - | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 100% | - | - | - | |
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 87.5% | 12.5% | - | - | 忙しいときでも必要な記録を入力し、漏れが無いよう共有していく。朝・夕のミーティングで支援の検証・改善につなげている。 | |

| | | | | | | | |
|--------------|----|--|-------|-------|-------|---|--|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 87.5% | 12.5% | - | - | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 37.5% | 62.5% | - | - | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 62.5% | 37.5% | - | - | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 75% | 25% | - | - | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 62.5% | 25% | 12.5% | - | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 62.5% | 37.5% | - | - | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 75% | 25% | - | - | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 50% | 37.5% | 12.5% | - | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | - | 62.5% | 37.5% | - | 地域での認知度が低く、行事に誘われることがほとんどない。地域に知ってもらい、交流を検討中。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | - | 75% | 25% | - | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100% | - | - | - | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 37.5% | 25% | 37.5% | - | おむつの当て方などの助言するなど、保護者からの相談は受け止め、アドバイスがあれば適宜行っている。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 75% | 25% | - | - | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 62.5% | 37.5% | - | - | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 12.5% | 50% | 37.5% | - | |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|-------|-------|-------|-------|---|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 100% | - | - | - | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 100% | - | - | - | 活動だよりを毎月1回発行。感染予防案内も適宜発行。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 100% | - | - | - | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 62.5% | 25% | - | 12.5% | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | - | 62.5% | 37.5% | - | リサイクル活動の案内と協力のチラシや、クリスマス会等の行事の招待状を配布することを検討中。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 50% | 50% | - | - | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 87.5% | 12.5% | - | - | 年2回実施 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 75% | 25% | - | - | 伝達研修 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 87.5% | 12.5% | - | - | チームでアセスメント・支援方法を決定し、保護者に口頭と支援計画で説明し、同意をいただき実施。半年に1回モニタリングを実施。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 87.5% | 12.5% | - | - | 家族より聞き取る機会が多い |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 87.5% | 12.5% | - | - | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無効票 | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|----|---|-----|---------------|-----|-----|--------------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 50% | 40% | 10% | | ぶつかりが無いよう、危険が無いよう工夫している |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 30% | 20% | 50% | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 60% | 30% | 10% | | 危険が無いよう、先に取り除くなどの配慮をしている |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 40% | 60% | - | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 70% | 30% | - | | 保護者用アンケートを元に、企画(保護者を交えた交流会)の回数を増やした。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 70% | 30% | - | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 30% | 30% | 40% | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 10% | 90% | - | | |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 50% | 50% | - | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 10% | 60% | 30% | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 60% | 20% | 20% | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 40% | 50% | 10% | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 30% | 70% | - | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 60% | 40% | - | | できそうなレクリエーション提案を考慮している |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 50% | 40% | 10% | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 70% | 30% | - | | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 80% | 20% | - | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|-----|-----|-----|-------------------------------------|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 70% | 30% | - | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | - | 90% | 10% | ガイドラインの総則の基本活動をよく理解できていないため、まず理解する。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 70% | 30% | - | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 40% | 60% | - | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 30% | 60% | 10% | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 60% | 30% | 10% | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 60% | 40% | - | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 40% | 40% | 20% | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 10% | 30% | 60% | 公園、散歩など実行している |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | - | 30% | 70% | 今後協議会に参加していきたい |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 90% | 10% | - | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 30% | 30% | 40% | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 80% | 20% | - | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 80% | 20% | - | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 70% | 30% | - | |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|------|-----|------|--|-------------------------------|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 80% | 20% | - | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 100% | - | - | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 90% | 10% | - | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 80% | 20% | - | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | - | - | 100% | | 地域住民と挨拶はするが、招待することは積極的にしていない。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 50% | 50% | - | | 防犯マニュアルがない |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 100% | - | - | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 30% | 50% | 20% | | 外部研修へは参加している |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 70% | 30% | - | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 30% | 70% | - | | 現状ではアレルギーの利用者がいない |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 80% | 20% | - | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無効票 | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|--|---|-------|---------------|-------|-----|---------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 85.8% | 14.2% | - | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 100% | - | - | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 100% | - | - | | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 57.1% | 42.9% | - | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 42.9% | 57.1% | - | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 42.9% | 42.9% | 14.2% | | 会社のHPIにて公開している |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | - | 57.1% | 42.9% | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 42.9% | 57.1% | - | | 社内研修の実施や研修案内等を回覧している。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100% | - | - | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 14.2% | 57.1% | 28.7% | | 作成していかなければならない。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 42.9% | 57.1% | - | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 57.1% | 42.9% | - | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 14.2% | 85.8% | - | | 努力していく必要がある |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 57.1% | 28.7% | 14.2% | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 71.4% | 28.6% | - | | 朝礼は必ず行き、役割分担等についても確認している。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 85.8% | 14.2% | - | | |
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 85.8% | 14.2% | - | | | |

| | | | | | | | |
|--------------|----|--|-------|-------|-------|--|--|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 100% | - | - | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 42.9% | 57.1% | - | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 71.4% | 28.6% | - | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 100% | - | - | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 28.6% | 42.8% | 28.6% | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 14.2% | 71.6% | 14.2% | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 71.4% | 28.6% | - | | 移行支援会議で情報を提供している。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | - | 57.1% | 42.9% | | 研修に積極的に参加していくよう、声掛けを行っていく。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | - | 28.6% | 71.4% | | 地域の行事などを積極的に収集していきたい。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | - | 42.9% | 57.1% | | 努力していく |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 85.8% | 14.2% | - | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | - | 85.8% | 14.2% | | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 85.8% | 14.2% | - | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 57.1% | 42.9% | - | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | - | 57.1% | 42.9% | | クリスマス会を実施した。お茶会なども企画し、交流の場を持てるようにしていきたい。 |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|-------|-------|-------|--|---|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 100% | - | - | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 57.1% | 42.9% | - | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 85.8% | 14.2% | - | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 71.4% | 28.6% | - | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | - | 57.1% | 42.9% | | 検討していきたい |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 71.6% | 14.2% | 14.2% | | 感染症マニュアルは利用者に配布している |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 71.4% | 28.6% | - | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 14.2% | 85.8% | - | | 研修には毎年参加している。研修に参加した職員から再度他の職員に対して説明をもらう。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 71.4% | 28.6% | - | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 71.4% | 28.6% | - | | アレルギーの有無はアンケートにて聞き取りをしている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 85.8% | 14.2% | - | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無効票 | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|----|---|-----|---------------|-----|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 59% | 33% | | 8% | 空きスペースはあるが、うまく利用できていない部分もある。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 67% | 25% | | 8% | どの職員でも対応できるように指導する |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 84% | 8% | | 8% | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 84% | 8% | | 8% | 新人職員が増えたため徹底していく |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 92% | | | 8% | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 83% | | | 17% | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 17% | 17% | 50% | 16% | あったら良いと思う |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 75% | | 8% | 17% | 色々な職種で研修の機会を設ければ良いと思う。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 83% | | | 17% | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 83% | | | 17% | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 84% | 8% | | 8% | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 84% | 8% | | 8% | 利用時間が短く、本人の好きなことに偏りがちであるため、多様な活動を提供するように努めたい |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 75% | 17% | | 8% | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 92% | | | 8% | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 83% | | | 17% | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 92% | | | 8% | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 92% | | | 8% | |

| | | | | | | | |
|--------------|----|--|------|-----|-----|-----|---------------------------------|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 92% | | | 8% | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 75% | 17% | | 8% | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 100% | | | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 92% | 8% | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 67% | 25% | | 8% | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 67% | 25% | | 8% | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 75% | 17% | | 8% | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 50% | 34% | 8% | 8% | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 17% | 33% | 42% | 8% | クリスマス会等の行事程度 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 8% | 50% | 25% | 17% | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100% | | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 17% | 67% | 8% | 8% | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 50% | 42% | | 8% | 説明できない職員に対しては周知していく |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 58% | 34% | | 8% | 相談されれば、対応し事業所側からも良いと思うことは提供している |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 25% | 50% | 17% | 8% | |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|-----|-----|-----|----|---|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 84% | 8% | | 8% | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 84% | 8% | | 8% | ホームページに掲載しても良いのではないか |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 92% | | | 8% | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 92% | | | 8% | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 8% | 50% | 34% | 8% | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 42% | 50% | | 8% | 例えば避難場所を掲示したもの等のマニュアルを作成し、配布したりホームページに載せる |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 75% | 17% | | 8% | 活動の中で取り入れつくしだよりやホームページに実施の報告を掲載する |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 75% | 17% | | 8% | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 84% | 8% | | 8% | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 92% | | | 8% | 現在アレルギーの子供はいないが、その都度対応していく |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 75% | 17% | | 8% | 知らない職員には周知していく |